

令和6年度 さいたま市立新開小学校 第1回学校運営協議会 議事録

1 日時

令和6年5月30日(木) 10:00~13:00

2 場所

会議室

3 参加者

	氏名(ふりがな)	性別	役職等
1	小林 喜雄(こばやし よしお)	男	青少年育成新開地区会相談役
2	前田 三恵子(まえだ みえこ)	女	青少年育成新開地区会副会長
3	大貫 充(おおぬき みつる)	男	青少年育成新開地区会会長
4	林 大悟(はやし だigo)	男	青少年育成新開地区会副会長
5	田中 輝明(たなか てるあき)	男	ラミーユ浦和防犯ボランティア
6	屋代 光昭(やしろ みつあき)	男	新開自治新和会長
7	宮田 隆司(みやた りゅうじ)	男	桜田2丁目防犯ボランティア
8	小島 美穂子(こじま みほこ)	女	新開2丁目防犯ボランティア
9	海藤 貴子(かいどう たかこ)	女	新開小学校図書ボランティア会長
10	坂下 三浩(さかした みつひろ)	男	新開小学校PTA会長
11	武田 亜寿香(たけだ あすか)	女	新開小学校前PTA副会長
12	岡田 健彦(おかだ たけひこ)	男	校長
13	宇野 直記(うの なおき)	男	教頭
14	霜垣 良輔(しもがき りょうすけ)	男	教務主任
15	山野井 幸夫(やまのい さちお)	男	学校地域連携コーディネーター

※欠席者 なし

#### 4 内容

- (1) 校長あいさつ
- (2) 自己紹介
- (3) 委嘱状・任命書の交付
- (4) 学校運営協議会の概要説明
- (5) 委員長、副委員長の選出  
開会
- (6) 委員長による開会宣言
- (7) 学校経営方針について
- (8) いじめ防止基本方針について

#### (10) 熟議

○熟議テーマ「児童、保護者、地域、教職員が『学校を運営する当事者』となるために、学校運営協議会としてどのような働きかけができるか」

(だれが、いつ、何を(内容)、どのように(方法)するか)

#### (11) 事務連絡

- ・新開小学校防犯ボランティアの団体表彰の紹介
- ・流域貯留新当施設工事の概要について

#### (12) 閉会

【議事詳細】

議 事	発言者	発言内容・回答等
1 あいさつ	校長	<p>熟議について 子どもたちについて 学校教育の変化 高学年教科担任 働き方改革 生徒指導対応、給食対応、教員の超過勤務 地域の支援体制 ボランティアの方々の高齢化 持続可能な体制づくりが急務である。 学校協働体制をみんなで考えていく必要がある。</p>
2 議事		
学校経営方針	校長	<p>現状維持は衰退と同じととらえる。常にアップデートをしていく必要がある。 学校教育目標、目指す学校像、ユネスコスクール、コミュニティスクールの文言は提案通りでお願いしたい。 学校は地域とのつながりを大切にする。 SDB がはじまる（実際の画面をスクリーンに表示） おはようメーターの活用について 学校自己評価システムシートについて いじめ、長欠児童について引き続き、迅速な対応をしていく。</p>
	屋代様	<p>おはようメーターは、アクセス権限があるのか ⇒教頭：教職員にはそれぞれアカウントが付与されており、職位によってそれぞれアクセス権限が異なる。</p>
いじめ防止	教頭	<p>※スクリーンに、HP に掲載している「令和6年度のいじめ防止基本方針」を映しながら説明。 令和4年度、5年度のいじめ認知件数について。 校内の組織等について 重大事態について</p>
熟議	<p><b>テーマ「児童、保護者、地域、教職員が『学校を運営する当事者』となるために、学校運営協議会としてどのような働きかけができるか」</b></p>	
	校長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校がやるべきこと</li> <li>・保護者の立場でできること</li> <li>・地域の立場でできること</li> </ul>
	田中	<p>各地域の自治会もメンバーかわっている。情報伝達がどうなっているのか。 本委員会で、そのあたりも知ってほしい。地域の活動があまり知られていない。地域ごとのつながりをもつといい。それぞれの地域同士の情報交換が必要ではないか。地域の活性化が課題である。</p>

		子供会でどういうことができるのか。防犯ボランティアとして何ができるのか。
	林委員長	確かに、それぞれの地域どうしでの催しや活動については互いに知らせることが徹底されていない。
	海藤	回覧があるとよい。 ネットが主流かという、高齢者が多い地域の方々は、ネットはみない。紙がよいのでは。
	小林	回覧がよい。また、子ども郵便ボランティアについては、再考してほしい。子供に責任を負わせるのは酷である。各自治会長に配布して、そこから展開するとよいのではないか。
	田中	窓口はひとつがいい。防犯関係と学校運営に関する資料は分けて配付してほしい。年間の行事予定などは配付されないのか。
	教頭	年間行事予定は各家庭のみにしか配付されていないようなので、地域にも配付します。
	小林	保護者の当事者意識を促す手段として、例えば、学期に一度行う集団下校では、帰りながら清掃をするなどがいい。地域との関係が強まるのではないか。
	林委員長	それもいいですね。また、今年からクリーン活動の日を土曜日にしたことはとてもよい。例年より人が多く集まった。大成功である。しかしながら、クリーン活動があったことを知らなかった地域の方もいるので、各自治会の中で周知されるように、例えば自治会長に案内を配付する際、「地域の皆様も是非ともご協力ください」のように、自治会長からも発信できるような案内にするとよいのではないか。
	小林	コロナ渦でなくなった子供会の祭りをやめるべきではない。暑い時期を外して、子供の思い出づくりのために、時期をずらすなどして、是非とも子どもたちのためにやってもらいたい。
	田中	ラミーユの祭りも10月にして、暑い時期をやめた。金管の子どもたちも出演するので、そこを配慮した。
	屋代	話を回覧に戻す。前は月に2～3回あったが、今は違う。月初めに、自治会に学校だよりが届くなら配る。 自治会長としては、学校のことを周知する役割がある。周知の仕方は、それぞれの自治会長の判断がある。
	海藤	当事者意識をもたせるには、まず関心をもってもらうことが大切ではないか。なので、そもそもお手紙等での学校の情報が入ってこないことには、地域の方々も関心もてないのではないかと感じる。
	小林	25日過ぎると、桜田地区は配布できない。回覧するには、早めにほしい。
	校長	委員の意見は重い。

		<p>学校だよりは文字を減らして、端的に分かりやすく表現する必要がある。そうすることで、月末配付ではなく、25日配付等も前向きに検討ができる。</p> <p>紙を全世帯数配布するのか。回覧板数だけ配布するという手段もある。</p>
	林委員長	<p>自治会長には、6 / 10のSSNで説明し、回覧等についてご理解いただく。</p>
	海藤	<p>手紙は世帯数ではなく、回覧でいいので各自治会に1枚でよいと考える。</p>
	校長	<p>1枚にするのもよいが、QRコードを示すとデータでほしい方にも対応できるのでよい。</p>
	小林	<p>用務員の業務について。もう少し活動をしてほしい。以前の用務員は、木を切ったり、草をむしったりしていた。</p>
	校長	<p>用務員は、業務委託していて、業務内容や勤務内容は決められている。</p> <p>問題は、年齢と体力的なものもある。用務員は高齢者でもあるので、気候や体調等も考慮する必要がある。</p>
	林委員長	<p>まとめると、地域を巻き込む話を中心であった。情報の伝達手段を工夫すると、当事者意識につながるのではないか。学校の先生方には、年度末、年度初めの配付方法や配付時期、配付数等を検討していただけると大変助かります。</p>
	校長	<p>最後に、別の視点で話を1点させていただきたい。児童の登校時間が早いのが気になる。少し遅くしたい。防犯ボランティアの皆様の見守り時間が20分と長いのが大変気になるし、体調等も心配である。もっと短くしたい。8時以降に学校に到着させる。など今後検討を重ねていく。</p>
	小林	<p>朝の登校指導で、最後の登校班についてくるのは教頭ではなく、交通指導員がいいと考える。</p>
	校長	<p>第2回には、児童の参加をさせたい。代表の児童に発表させたい。</p>
閉会		